

【上郷地区】地方創生意見交換会（結果）

日時：平成 27 年 6 月 16 日（火） 19：30～21：00

場所：上郷地区公民館 研修室

1. 参加者	参加者 12 人、職員 3 人（小松副町長、遠藤企画情報課長、佐藤）
2. 開会	小松副町長（あいさつ） 遠藤課長（資料の説明）
3. 主な意見	<p>●コトウラで育む</p> <ul style="list-style-type: none">・パートには産休制度がないため退職となる。2 人目を産むときは 1 人目を預けることができない。法律などで定められていることかもしれないが、正規・非正規、1 人目 2 人目にかかわらず預けられるようになれば子育て世代は増えるかもしれない。・養護学校の児童生徒を放課後預かってくれる施設は赤碕地区しかない。東伯地区にもあれば支援になる。・町内に子供を遊ばせることができる公園がない。総合運動公園の遊具が撤去されたので、町外に出てしまう。・小さいときから琴浦のよさを感じられるような教育、ひとづくりの推進。IJ は憧れが強いので実際に暮らしてみると帰ってしまう。U ターンの取り組みを推進する。・保育園の制度が変わったことは話に聞いたことがある。町独自の政策でもいいので、利用しやすい、実態にあった保育環境になればと思う。 <p>●コトウラで創る</p> <ul style="list-style-type: none">・他の町村は若い就農者が多い。農業の楽しさを保育園、小学校のころから体験を通して伝えていく。・鳥獣被害が大きいので、イノシシ、ヌートリアを活用する方法を検討してはどうか。・そばを作っているが、広めていこうとしても労力がない。収量が少ないので、なかなか採算が取れないこともあり、縮小していきつつある。・農業者が高齢化し、あと何年かすれば作り手がなくなる。営農集団であれば、お年寄りでも草刈りなど手伝うこともできるが、リーダーがいない。外部からつれてくることができないか。作りたくても若い人がいないからできない地域もある。・ぼろたんを作っているが、販路がなかなかない。・農業は個人経営がほとんどだが、たとえば地区の農業者で構成する会社化していくのも高齢化対策のひとつだと思う。・法人化するのは反対ではないが、リーダーがいない。自分から率先してやろうという元気な人がいない。・中山間地域を守っていこうとする行政の施策がない。・ <p>●コトウラで輝く</p>

	<ul style="list-style-type: none"> ・城跡や八幡宮、古墳などあるが、この地区には観光的なものは何もない。地域の魅力を発見していくことから始めなければいけない。 ・地域に住んでいるものには気づかない魅力があるのかもしれない。 ・北栄町にはコナンがあるが、琴浦は目玉となる観光地がない。鳥取、境港の中間にあることを活用できたら観光客も増えるのでは。 ・公民館で地域住民が集まれるようなカフェを月一回から開催しようと考えている。こういった活動が地域の活性化になればと思っている。
	<p>●コトウラに根づく</p> <ul style="list-style-type: none"> ・国が東京の高齢者を地方へ移住させる計画を推進しているが、姥捨て山になる恐れがあること、地方の負担が増える可能性があることなど、個人的には反対である。
4. その他	<ul style="list-style-type: none"> ・旅館など外部のコンサルタントなどの助言を受けることがあるが、町でも外部の意見を聞きながらまちづくりをすすめていってはどうか。 ・人口減少対策は一朝一夕でできるものでない。地区公民館で意見交換して明るい展望がみえるものでない。今日話を聞いて少なくともこの地区は人口減少を止めることはできないと感じている。